

Tohoku Gakuin Alumni Association

# LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.24 2021.12



通信

Life Light Love

19万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



2023年4月、仙台都心部・五橋地区に誕生予定の新キャンパス(五橋キャンパス)。



## 東北学院大学

### [ 大学院 ]

文学研究科(博士課程) / 英語英文学専攻・ヨーロッパ文化史専攻・アジア文化史専攻

経済学研究科(博士課程) / 経済学専攻

経営学研究科(修士課程) / 経営学専攻

法学研究科(博士課程) / 法律学専攻

工学研究科(博士課程) / 機械工学専攻・電気工学専攻・電子工学専攻・環境建設工学専攻

人間情報学研究科(博士課程) / 人間情報学専攻

### [ 学部 ]

文学部 / 英文学科・総合人文学科・歴史学科・教育学科

経済学部 / 経済学科・共生社会経済学科

経営学部 / 経営学科

法学部 / 法律学科

工学部 / 機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科・情報基盤工学科

教養学部 / 人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科

### 土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

### 多賀城キャンパス

〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

### 泉キャンパス

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

## 東北学院中学校・高等学校

### [ 東北学院中学校 ]

特別選抜コース / 総合コース

### [ 東北学院高等学校 ]

特別進学コース / 総合進学コース / 東北学院大学コース

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

## 東北学院榴ヶ岡高等学校

特別進学コース / TG選抜コース / 総合進学コース

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

## 東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

01 学校法人 東北学院 概要

02 インタビュー特集

東北学院同窓会 会長 / 法学部同窓会 会長 / 弁護士TG会 会長  
弁護士法人希望 (代表)社員 / 弁護士  
森山 博

東北学院同窓会 顧問 / 東北学院同窓会 前会長  
宮城トヨタ自動車株式会社 代表取締役 会長  
後藤 久幸

東北学院同窓会 参与  
学校法人東北学院 院長  
東北学院大学 学長  
大西 晴樹

東北学院同窓会 参与  
東北学院中学校・高等学校 校長  
阿部 恒幸

東北学院同窓会 参与  
東北学院榴ヶ岡高等学校 校長  
河本 和文

12 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～

東北学院中学校・高等学校 常勤講師  
佐々 充

14 代議員会報告 / 収支決算書

16 TGギャラリー

17 TGネットワーク

巻末 東北学院校歌 / 校友課より

### 表紙

#### 東北学院大学 泉キャンパス

昭和63(1988)年に開設された泉キャンパス。豊かな自然に囲まれた約10万坪の敷地に建てられた学び舎で、文学部・経済学部・経営学部・法学部(各1・2年生)、教養学部(全学年)、大学院人間情報学研究科の学生が学んでいます。学生たちは、2023年度から五橋キャンパスに移ることが決まっています。

# LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

## 東北学院同窓会報

[ ルクス・ムンディ～世の光～ ]

# Vol.24 2021.12

### 表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



# Interview

インタビュー特集

## 東北学院生としての 誇りに磨きをかける 心を育む支援も 行ってまいります

東北学院同窓会 会長  
法学部同窓会 会長  
弁護士TG会 会長

弁護士法人希望 (代表)社員  
弁護士

## 森山 博

もりやま ひろし  
昭和47年東北学院大学法学部法律学科卒

### profile

昭和23年6月19日生まれ。仙台市出身。  
大学卒業後、青森地方裁判所事務官、同裁判所書記官を経て、昭和56年司法試験合格。昭和61年に森山博法律事務所、平成18年に弁護士法人希望を開設した。仙台弁護士会会長、人権擁護委員(法務省)、日本弁護士連合会副会長などを歴任。東日本大震災時は、いち早く被災者を対象とした相談窓口を開設したり、救済のための制度新設などに尽力した。令和元年5月24日旭日中綬章を受章。現在、宮城県公安委員会委員長(2期目)。趣味は読書とゴルフ、晩酌(少々)。

### これまでの恩に報いる 最後のチャンス

「東北学院の同窓会に関わるようになって、およそ20年。同窓会の副会長を5期15年にわたって務めました。その間、東北学院の理事や評議員の経験を通じていただきました。私自身、70歳を過ぎましたのでそろそろ人生をまとめる時期に来ていると思っていたところで、皆さまから同窓会会長として推薦されましたので、それを謹んでお受けしました。学生時代はもちろん、同窓会活動を通じてさまざまな人に巡り合い、育てていただきました。『お世話になった恩に報いることができる最後のチャンス』という気持ちでおります」と、森山博さんは会長職を引き受けたときの心境を話す。

森山さんが東北学院に在籍したのは大学の4年間。この濃密な時間は、弁護士になるという目標をかなえるために必要な多くの学びや、恩師との出会いをもたらしてくれた。「非常に大切な4年間」として、いまま森山さんの心深くに刻まれている。

### コロナ禍だからこそ 同窓会活動を見直す

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、東北学院でもさまざまな感染予防対策が実施される中、同窓会活動はど

のように変化していくのだろうか。

「いまは誰もが不安を抱え、苦しい思いをしています。しかし、苦しいだけで終わらせないために、これまでの同窓会活動のあり方を再点検しようと考えています。足りなかった部分を洗い出し、状況の変化に合わせて、修正すべきところは修正していくことです。私たちは、これまでも東日本大震災という未曾有の災害に遭い、それによって生じた被害や心に受けた痛みを、どのようにして乗り越えていくかという課題に取り組んできました。その中で東北学院が発揮した行動力、団結力、精神力は、全国の皆さんも知るところとなりました。この経験から培ったものを、今回のコロナ禍でも活かすことができるのではないかと考えています」。

森山さんは、東日本大震災時、弁護士として法律相談から立法提言まで、即座に行動。二重ローンに苦しむ人々の救済措置として、被災ローン減免制度を新設した実績をもつ。もちろん、このほかにもたくさんの方の復興支援に関わってきた。震災という困難に立ち向かう原動力も、やはり地域に貢献したい、これまでの恩に報いたいという思いにほかならない。

### 安心感と誇りを胸に 地域に貢献する人材に

最後に、新同窓会長としての抱負を伺った。



「同窓会の支援としては、経済的なものが多いのですが、精神面や文化面への支援も必要だと思っています。例えば、現役の東北学院生に、地域に貢献する先輩方の存在をもっと知ってもらい、そんな人たちが育った学校の後輩なのだという思いを、社会で頑張るためのエネルギーにしてほしいと思っています」。森山さんは、法学部同窓会の会長として、『先輩と語る』という会を企画し、さまざまな職業の卒業生と、その職業に興味がある学生をマッチングして、仕事のことや将来のことを直接、聞くことができる機会を設けている。

これからの同窓会は、誇りという精神的支柱をつくること、そして、それを支えていくことが目標です。また、生徒・学生のうちから、同窓会の存在を知ってもらい、卒業後は同窓生として、母校のサポートに力を貸していただければうれしいです」。

社会人になってからも、行く先々で東北学院の同窓生と出会い、それが縁でお付き合いの輪が広がり、仕事が入るムーブに運ぶこともたくさんあったという森山さん。同窓会長になったいま、学生のとこから同窓生との繋がりを育んでいくことで、いつでも相談できる人や場所があるという安心感と誇りをもつてほしい。そして、地域に貢献する人材になってほしいと願っている。

# Interview

インタビュー特集

## 在校生と同窓生、 その交流から生まれる 大なる可能性に 注目しています

東北学院同窓会 顧問  
東北学院同窓会 前会長  
宮城トヨタ自動車株式会社 代表取締役 会長

### 後藤 久幸

ごとう ひさゆき

昭和32年東北学院中学校卒、昭和35年東北学院高等学校卒  
昭和39年東北学院大学文経学部経済学科卒

#### profile

昭和16年10月21日生まれ。仙台市出身。  
東北学院大学を卒業後、東京トヨペット㈱に入社。昭和41年4月、宮城トヨタ自動車㈱に入社し、昭和58年、同社代表取締役社長に就任。平成19年6月より同社代表取締役会長。宮城自動車整備振興会会長、宮城県中小企業団体中央会会長など、多くの要職を歴任。趣味は水泳とゴルフ(コロナ禍では練習に終始)。

#### たちまちに過ぎた9年 任務を終えて安堵

後藤久幸さんは、中学校から高校、大学までの10年間、東北学院の一貫教育を受けた、いわば「ミスター東北学院」ともいべき存在で、2011年度までは、仙台同窓会の会長を務めた。そして2012年5月、東北学院同窓会の会長に就任。以来、1期3年の会長職を3期9年の長きにわたって務めあげ、今年5月、そのバトンを新会長へと渡した。

「新型コロナウイルス感染症の影響で、2021(令和3)年度の東北学院同窓会代議員会は、対面ではなく、書面による決議で行われました。ですから、新会長である森山博さんに、直接お会いしてのバトンタッチはかないませんでした。しかし、これまでも、ともに活動してまいりましたので、安心してお任せすることができました。この9年間を振り返ると、たちまちに過ぎてしまったというのが本音です。ただ私自身、会長としてまだまだやれることはあったのかもしれないが、前同窓会長の星宮望先生をはじめ、東北学院の皆さんにバックアップしていただき、また同窓会の皆さんにも多大なるご協力をいただくことで、無事に任務を終えることができたことに安堵しています」と、周囲への感謝の気持ちを語る。

#### 甲子園に流れた校歌 多くの同窓生が合唱

これまでの同窓会活動の中で、たくさん印象的な出来事があったと話す後藤さん。その中でも特に感動したのは、今年、2021年夏の全国高等学校野球選手権大会に出場した東北学院高等学校野球部の活躍と、同窓会との結びつきを実感したことだった。

「初戦で勝利を収め、甲子園球場に東北学院の校歌が流れたことは、私だけでなく、在校生や保護者の方々はもちろん、多くの同窓生が感動したと思います。私のところにも、「あのとき、私も校歌と一緒に歌いました」と、連絡をくださった同窓生が何人もいました。この出来事によって、東北学院をみんなで応援しよう、後輩たちをバックアップしようという機運が高まり、同窓会活動にも弾みがつくのではないかと期待しています。また、校名がマスメディアで紹介されたことも、この少子化の時代にあっては、全国に東北学院を知ってもらう良い機会となり、大変良かったのではないかと思います」と、笑顔を見せる。

#### 周囲の協力を得て 「走りながら考える」

1903(明治36)年、24名の同窓生によって結成された東北学院同窓会



会長は、2011年度まで、100年以上にわたって東北学院の院長などが務めていた。同窓生としてその役目を引き継いだのは、後藤さんが初めてだった。

「同窓生である私が引き継いだことで、即座に何かを変えようということではなく、ゆっくり時間をかけて、まず学校と同窓会の関係をより良好にしておくことに努めようと思いました」と、就任した当時から振り返る。

これまで学校との相互理解を大切にしながら、同窓会を育んできた後藤さんから、最後に同窓会に期待することを伺った。

「私自身、初めから『同窓会をこうしよう』と考えていたわけではなく、副会長をはじめ、各支部やTG会の皆さん

のお話をお伺いする中で、走りながら考えようという気持ちでやってまいりました。新会長の森山さんは弁護士をなさっていますので、大変お忙しいと推察いたしますが、本業も大切にしながら、同窓会の運営にお力を貸していただけますと幸いです。私とは違った形でリーダーシップを発揮してください。また、学校の皆さまには、同窓会活用といいますが、同窓生とのコミュニケーションからさまざまなものが生まれる可能性に注目していただいて、お互いに協力し合っていくことが必要だと思います。そして、皆さんで同窓会を今後とも盛り上げていただければと思っています。」

今後、後藤さんは同窓会の顧問として、より客観的な視点で同窓会を見守っていく。



# Interview

インタビュー特集

## 「二人の学生も迷うことなく」卒業し、社会で活躍するために同窓会の存在は大いなる励ましです

東北学院同窓会 参与  
学校法人東北学院 院長  
東北学院大学 学長

# 大西 晴樹

おおにし はるき

### profile

昭和28年3月10日生まれ。北海道深川市出身。昭和50年3月法政大学法学部政治学科卒業。昭和53年明治大学大学院政治経済学研究科修了、昭和58年神奈川大学大学院経済学研究科単位取得修了、同年明治学院大学経済学部専任講師に。その後、昭和61年助教授、平成5年教授、平成16年経済学部長、平成20年大学長、平成24年学院長に就任。平成31年4月東北学院大学学長就任、令和2年4月学校法人東北学院院長就任。趣味は散歩とラーメンの食べ歩き。

### 創立150年を見すえ さまざまな改革が進行

「仙台での生活も3年目を迎えました。50年ほど前の話ですが、北海道の自宅を出て東京に向かうには、連絡船に乗って、青森から夜行で進むわけです。列車に揺られ、やっと町の光が見えてきたなと思うと、それが仙台でした」と、大西晴樹学長は当時を懐かしむ。東北学院大学に着任して以来、大西学長は、TGGランドビジョン150（東北学院中長期計画）という、東北学院創立150年を目指してつくられた計画の中核をなす2023年4月の新五橋キャンパス開校。それに合わせて、さまざまな計画が進んでいる。その一つが、教学改革。

### 「個人の尊厳」を 大切にできる気風に感動

学長に就任以来、数々の感動を経験したという大西学長。まず、礼拝に出席

する学生が多いということ。日本のキリスト教学校は103校あるが、大学で最も礼拝への出席者数が多いのが本学だった（2019年度）。さらに、コロナ禍で学生を教え、支える教職員の気概にも感銘を受けたと話す。

「昨年の春、コロナの影響で授業がオンラインになり、今後の体制づくりについて先生方に相談したところ、6人の学部長先生から、異口同音に「二人の学生も迷うことなく」という言葉が発せられたのです。その背景に「迷い出た羊」を大切にするという聖書の教えがあることに気がつき、建学の精神である『個人の尊厳』が育まれていることに感動しました。」

「迷い出た羊」とは、新約聖書マタイによる福音書18章に書かれた教えである。「ある人が羊を百匹持つていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はっきり言っておくが、もしそれを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、この一匹のことを喜ぶだろう」（マタイによる福音書18章12、13節、新共同訳）という記述がある。

コロナ禍で、遠隔授業という慣れない環境に苦慮する学生も、アルバイト先の減少によって経済的困窮に陥る学生も、卒業まで誰一人迷うことなく導くという決断をした大学。具体的には、感染状況を踏まえて、オンライン授業と対面での授業をこまめに切り替えて実

施したり、学生の健康状態を良好に保つ二助となるべく、学生食堂において栄養価の高いランチメニューを2000円で提供するなど、温かいサポートは細部にまでおよんだ。

### 東北における人材育成の 中心的役割を担う

これまで東北学院大学は、文部科学省が進める「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」のメンバーとして活動してきた。これは大学と地方公共団体や企業等との協働により、その地域が求める人材を養成し、また魅力ある就職先の創出をすることで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として行われているものであ

る。そして、この春、新しいメンバーを加えて、新たに「みやぎ・せんだい地域人材育成共同事業プラットフォーム」を立ち上げた。

「これにより、本学は仙台・宮城東北の人材育成の中心的な旗振り役を担っていくことになりました。東北学院大学は就職率が高く、卒業生は、地元はもとより、日本全国で活躍しています。それを支えてくださっているのが同窓会です。同窓生の地域における『地の塩・世の光』としての働きが、キリスト教人格主義によって味付けされたジェントルマン・ジェントルウーマンたちによって支えられていることは、大いなる励ましです。ぜひ、これからは私たちを応援してください」と、同窓生に敬意と感謝の念を表してくださいました。



# Interview

インタビュー特集

## 学校改革では、 未来志向で 生徒中心の学校を 目指します

東北学院同窓会 参与  
東北学院中学校・高等学校 校長

# 阿部 恒幸

あべ つねゆき

### profile

昭和33年7月28日生まれ。山形県酒田市出身。  
昭和56年3月東北大学理学部数学科卒業、同年4月から宮城県公立高校教員。平成19年白石高等学校教頭、平成22年教育庁高校教育課課長補佐、平成23年教育研修センター次長を経て、平成24年黒川高等学校校長に就任。その後、総合教育センター所長、仙台第三高等学校校長を歴任し、令和元年4月東北学院中学校・高等学校校長就任。趣味は映画鑑賞と読書。

### 生徒たちに受け継がれる 歴史に培われた校風

「私には好きな言葉、迷ったときに拠り所としている言葉があります。それは中山素平の『子どもは未来からの留学生』という言葉です。教育者の仕事とは、少し大げさにいえば、将来、この国を背負って立つ子どもたちを育てる仕事ですから、目先のことではなく、未来を考えなければならぬと、常に、自身を戒めています」と、静かに、しかし情熱を込めて話す阿部恒幸校長。2019年4月に東北学院中学校・高等学校の校長に就任。以来、生徒たちとふれ合う中で、キリスト教教育と130年の伝統に培われた校風が、彼らに息づいていることに気づかされたという。

「二例を挙げますと、文武、どちらにも一生懸命に取り組み、そしてしっかりと結果を出し続けているのも、本校の特徴だと思います。『二兎を追う』ことに、当たり前のように取り組めるのは、先輩たちから脈々と受け継がれている能力ではないかと感じます」と、東北学院の校風について語る。

### 同窓生の様子を託した 忘れられない手紙

2021年夏、文武に一生懸命取り組んだうれしい結果ともいえるべきニュースがあった。東北学院高等学校硬式野

球部が全国高等学校野球選手権大会に初出場、初戦で勝利を収めた。そのとき、初めて甲子園球場に東北学院の校歌が流れた。

「子どもたちが誇らしくて、涙がこぼれました。彼らは自分たちで練習の計画を立て、2人の学生コーチがリードする形で、すべて手づくりでチームをつくってきました。もちろん、その陰には彼らを信じて、指示を出したくなる気持ちや堪え、コーチングに徹した監督や部長の存在も大きかったと思います。ある意味、これからの部活動のあり方を先取りしたようなチームではないかとも思います。東北学院の建学の精神である『個人の尊厳の重視と人格の完成』、それがまさに体現されたよううれしかったです」と、阿部校長はこの出来事を振り返る。

さらに感動は続いた。野球部が甲子園で初勝利を決めた後、阿部校長のもとに関東在住の女性から、一通の手紙が届いた。

「旦那さまが東北学院の卒業生という方からのお手紙が、忘れられないお便りとなりました。旦那さまは認知症を患っていて、ご自身では何もできない状態なのだそうです。その方が、あの日、甲子園のグラウンドに東北学院の校歌が流れるのをテレビで見ながら、一緒に歌っていたというのです。何が起こったのかは誰にもわかりませんが、胸が温かくなる出来事をお手紙にしたためて、私に送ってくださいました。とて

もありがたかったです」。

### 自分で考え、決断する 「生きていく力」を養成

現在、東北学院中学校・高等学校では、2022年度からの共学化を含む大胆な学校改革に取り組んでいる。学校改革のキーワードは「未来学力」。ペーパーテストだけでは測ることのできない「生きていく力」のことを指している。自分の頭で考えて判断し、行動できる人。それが同校が目指す教育である。たとえ生徒が間違えても、先生はすぐに指示を出して軌道修正はせず、注意深く経過を見守る。生徒自身が自分の頭で考えて結論を出し、実践する過程をサポートする存在に徹することを目指

すという。

「誤解を恐れずに申しますと、私は生徒と教員は、できるだけフラットな関係でいることがいいと思っています。教員は自分の経験を踏まえて、『私はこう思うよ。でも最後は自分で決めてね』といえるような関係になれたら良いと思っています」。

同窓生にメッセージをいただいた。「後輩たちが社会に出たときには、今までもそうであるように、どうぞ彼らを励まし、ときに優しく導いてください。時代の流れとともに変わろうとしている本校を支えてください。これからも、どうぞよろしくお願います」と話す阿部校長の目は、同窓生たちが温かく見守っていることを確信しているようだった。



# Interview

インタビュー特集

## コース制の 完成年度に 本校ならではの 教育体制の 充実を図って まいります

東北学院同窓会 参与  
東北学院榴ヶ岡高等学校 校長

### 河本 和文

かわもと かずふみ  
昭和52年東北学院榴ヶ岡高等学校卒

#### profile

昭和33年10月9日生まれ。仙台市出身。  
昭和58年3月東京理科大学理学部数学科卒業、  
同年宮城県公立高校教員。平成18年教育庁指  
導主事、平成24年伊具高等学校教頭、平成26年  
総合教育センター次長、平成28年名取高等学校  
校長を歴任。平成29年東北学院榴ヶ岡高等学校  
副校長に就任し、令和3年4月東北学院榴ヶ岡高  
等学校校長。「趣味は子育てです」と語る。

### 進化し続ける 母校の特徴と魅力

2017年4月、副校長として東北学院榴ヶ岡高等学校に着任し、今年4月、校長に就任した河本和文校長は、1977年に同校を卒業した同窓生でもある。

「私が高校生活を送ったところと現在とは、学校は本当に大きく変わりました。まず、私が在籍した当時は、男子校だったので。しかし、変わらな部分もあります。キリスト教精神に基づく人格教育を柱とし、進学教育を中心とした『自由な雰囲気のある学校』、『自主性を尊重する学校』を志向する姿勢が貫かれていると感じています」と、河本校長は、進化し続ける母校の魅力を誇らしげに話す。さらに、素直で思いやりがあり、学校行事や部活動にも熱心に取り組む生徒が多いこと、またPTA組織である「奨学会」の活動が盛んであることなどの特徴も、同校の自慢できる点であると河本校長は続ける。

### 3コース制導入で 多様な進路希望を実現

このように、良き伝統を継承する東北学院榴ヶ岡高等学校に、大きな変化があった。それは、生徒それぞれの目標に合わせて、学ぶ内容が選択できるコー

ス制が導入されたことである。

東北学院榴ヶ岡高等学校では、2017年から学校改革に取り組み、2019年4月よりTG選抜コース、特別進学コース、総合進学コースという3コース制をスタートした。そして、3年目となる今年度は、全学年でコース制が実施される完成年度となる。

コース制について簡単に紹介すると、TG選抜コースでは、東北学院大学と連携した多様なプログラムや、多軸的な考え方を身に付けるグローバル教育を実施している。特別進学コースは、生徒の高い志が実現できるよう、徹底した学習体制で、基礎学力から応用的学力までしっかりと向上できるよう配慮されている。総合進学コースは、生徒が部活動と両立しながら、少人数制の習熟度別授業や互いに学び合う授業を通して、生徒の多様な進路希望を実現している。

「来年の3月には、コース制になってから初めての卒業生が巣立ちます。その結果も含めて、コース制における教育活動の効果を検証したいと思っています。そして、新たな取り組みや、実施内容の精選・変更などを踏まえた改善を行い、より理想的で効果的なコース制を構築していこうと考えています。榴生は、人格的に優れ、本来、高い能力をもっているにも関わらず、自信をもてず、力を発揮しきれない人が多いように思えます。ですから、私たちの使命は、榴生が自信をもって、社会的な課題

に立ち向かう姿勢を身に付けさせることだと考えています。先生方も責任感が強く、使命を達成するために、いろいろな取り組みを創造し、実践しています。これにより、なお一層の成果を追求し、『中学生が一番進学したい私立高校』となるよう、職員一丸団結して努力していく体制をつくり上げていきたいと思っています」と、コース制の完成を迎えたいまの抱負を語る。

### 高校生の時期に 企業や職業を知る機会を

今年度、東北学院同窓会から、コロナ対策学生緊急支援として、暖房機器（ジェットヒーター）が贈られた。また同窓会からは毎年、奨学生制度による経

済的支援も受けている。そこで、最後に河本校長から同窓会へのメッセージをいただいた。  
「同窓会の皆さまからいただいておりますサポートに、感謝申し上げます。私たちは、生徒には高校生のときに、さまざまな職業観にふれさせたいと考えています。榴ヶ岡同窓会からも何度か講師を派遣していただいているのですが、そのような機会に、ぜひ、県内外の企業で活躍されている卒業生の方々に、東北学院同窓会からも本校に派遣していただけないでしょうか。ご検討いただければありがたいです。将来の夢を実現するために必要な職業観や仕事のやりがいに、高校生のうちからふれてほしいと願う河本校長の熱意が伝わってくる。」





## 世を超えたT.Gの輪 躍動する同窓生

PROGRESS

さまざまな分野で活躍する東北学院の同窓生たち。

# 「協力」と「勉強」の大切さを 改めて実感した 2020東京パラリンピック



東北学院中学校・高等学校 常勤講師

### 佐々 充

ささ あたる

平成20年東北学院榴ヶ岡高等学校卒

#### profile

平成元年10月15日生まれ。宮城県利府町出身。平成20年東北学院榴ヶ岡高等学校卒業後、東北福祉大学総合福祉学部社会教育学科(現 教育学部教育学科)に入学。平成24年同大学を卒業後、宮城教育大学教職大学院に進学し、平成26年修了。平成29年より現職。趣味は、学生時代に自ら立ち上げたチームで卓球をすることと映画・音楽鑑賞。

### ミスが許されない緊張感

東北学院中学校で、1年生のクラスを担任し、中学校・高校の両方で社会科を教える佐々充さん。学校では自らの競技経験を生かし、卓球部の顧問を務めている。そんな佐々さんは、今年8月に開催された2020東京パラリンピック(以下、パラリンピック)で、卓球競技の国内技術員を務めた。国内技術員とは、ラケットの検査や試合の記録などを通して審判を補佐する、いわば裏方の仕事を担う。

「私が今回のパラリンピックで担当したのは、スコアをデジタル表示するという仕事でした。初めての経験ですし、そのスコアがテレビ画面に表示されるということもあり、ミスが許されないという極度の緊張の中、何とか無事に務めることができ、ほっとしています」と、佐々さんは使命を果たし終えたいまの心境を話す。

パラリンピックの会期中、約2週間にわたって、朝7時には会場に入ってスコアを表示する役割を担い、終了後は、シャトルバスに乗り込んで宿泊先に向かい、到着するのは夜の11時から11時半という生活を送った。

「慣れない仕事でしたので、大変な部分もありました。しかし、1964年の東京オリンピックには存在しなかった仕事に携わることができたわけですから、大変光栄に思いますし、疲労感よりも達成感の方が、比べものにならないほど大きいです。大会を支えたプロフェッショナルの方々との交流できたことも、良い経験になりました」と、笑顔を見せる。

### 「勉強」がもたらしたもの

宮城県卓球協会副理事長であり、同会の審判委員会委員長も務める佐々さんが、国際審判員の資格を取得したのは2016年。以来、ジャパン・オープンやアジア・カップといった大きな競技大会の運営に携わってきた。



## TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES TABLE-TENNIS

た。その中で、協力することの大切さを実感し、裏方の仕事に興味とやりがいを感じるようになっていった。国際審判員の資格を取得したのも、参画できる競技大会の幅を広げるためだったという。

国際審判員の資格試験には、筆記試験と実技評価、それらに加えて、電話による英語での口頭インタビューがある。そこで、英語を話すことに苦手意識があった佐々さんは、改めて英語を復習し直した。

「中学・高校で習ったことをベースに勉強し直したことで、今回のパラリンピックでは、外国人の方々や英語でコミュニケーションをとることができました。大人になってからも、一生懸命勉強することで、新しい発見や展開が待っていることに気づけたことは、私にとって宝物ともいえる経験です」と佐々さん。

「なぜ、勉強が必要なのかと自問自答し、ときには直接たずねてくる教え子たちに、パラリンピックの経験を踏まえて、佐々さんはこう伝えたいという。

「自分の夢をかなえたり、与えられたチャンスを生かしたりするときに、興味や知識、経験があれば、より目的に近づきやすくなる。そのためのために、勉強は必要だし、大切なんだよ」と。さらに、たくさんの方々の思いと協力がなければ、パラリンピックは成立しなかったということも、生徒に伝えたいと話す。

「サポートに徹したボランティアの皆さんには、深い隣人愛を感じましたし、国旗などの掲揚を担当した自衛隊 表彰式の設置を行ったヤマト運輸の方々には、迅速でムダのないプロフェッショナルの仕事を見せていただきました」。そう話す佐々さんには、まだまだたくさん伝えたいエピソードがあるようだ。

### 裏方を担う同窓生に光を

2020東京オリンピック・パラリンピックは、SDGs(持続可能な開発目標)を推進する大会と位置づけられたことから、メダルが携帯電話などの使用済小型家電から製作されたり、表彰台をリサイクルプラスチックでつくる取り組みも行われた。

「このような地道なチャレンジがあったことも、ぜひ多くの人に知ってほしいですし、機会あることに私も話題にしていきたいと思います。私自身、榴生時代は決して目立つ生徒ではありませんでした。しかし、先生方がいつも私を気にかけてくれました。いい先生方との出会いがあったから、教師を目指したといっても過言ではありません。そんな東北学院の卒業生には、お仕事や各々の活動の中で、裏方の役割を担っている方々がたくさんいらっしゃると思います。今回、私を紹介してくださったように、がんばっていらっしゃる同窓生に光を当てて、この誌面で紹介していただきたい」と、佐々さんは最後に本誌へのリクエストをくださった。

# 2021(令和3)年度東北学院同窓会代議員会議案

日時：2021(令和3)年5月14日(金)必着 場所：書面による決議

議事については以下の通り

## 議 事

### ◇報告事項(全て了承)

- (1) 東北学院評議員の推挙(報告)
- (2) 2020(令和2)年度東北学院同窓会庶務報告
- (3) 東北学院同窓会支部・TG会開催報告
- (4) 支部活動費補助利用状況報告
- (5) 東北学院同窓会 常任委員・代議員・顧問の選任について(報告)

### ◇審議事項(全て承認)

- (1) 2020(令和2)年度東北学院同窓会決算報告
- (2) 2020(令和2)年度東北学院同窓会財産目録
- (3) 2020(令和2)年度東北学院同窓会監査報告
- (4) 2021(令和3)年度東北学院同窓会予算(案)
- (5) 2021(令和3)年度東北学院同窓会事業計画(案)
- (6) 東北学院同窓会 会長の選任
- (7) 東北学院同窓会 副会長の選任
- (8) 東北学院同窓会 監事の選任

## 2021(令和3)年度 東北学院同窓会収支予算書

自 2021(令和3)年4月1日  
至 2022(令和4)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2021年度予算額	2020年度予算額	増減(21年度-20年度)	科 目	2021年度予算額	2020年度予算額	増減(21年度-20年度)
前年度繰越金	28,555,483	28,135,250	420,233	総 会 費	170,000	170,000	0
入 会 金	9,015,000	9,807,000	△ 792,000	集 会 費	3,300,000	5,500,000	△ 2,200,000
内 訳				旅 費 交 通 費	3,700,000	7,500,000	△ 3,800,000
大 学 院	30,000	42,000	△ 12,000	活 動 補 助 費	4,300,000	3,500,000	800,000
文 学 部	1,323,000	1,350,000	△ 27,000	印 刷 費	6,000,000	6,000,000	0
経 済 学 部	1,740,000	1,881,000	△ 141,000	通 信 費	1,500,000	1,500,000	0
経 営 学 部	894,000	1,023,000	△ 129,000	広 報 費	3,200,000	2,200,000	1,000,000
法 学 部	954,000	1,074,000	△ 120,000	ク リ ス マ ス 費	300,000	300,000	0
教 養 学 部	1,206,000	1,320,000	△ 114,000	TG十五日会費	2,400,000	3,700,000	△ 1,300,000
工 学 部	1,197,000	1,320,000	△ 123,000	人 件 費	6,500,000	5,200,000	1,300,000
高 校	465,000	486,000	△ 21,000	業 務 委 託 費	11,500,000	15,300,000	△ 3,800,000
榴ヶ岡高校	810,000	912,000	△ 102,000	福 利 厚 生 費	1,200,000	1,200,000	0
中 学 校	396,000	399,000	△ 3,000	会 議 費	500,000	500,000	0
会 費	43,072,200	43,213,800	△ 141,600	備 品 費	200,000	200,000	0
大 学 院	279,000	309,000	△ 30,000	事 務 費	200,000	200,000	0
文 学 部	5,577,000	5,538,000	39,000	雑 費	1,000,000	1,600,000	△ 600,000
経 済 学 部	7,803,000	7,737,000	66,000	学 生 緊 急 支 援 費	10,000,000	10,000,000	0
経 営 学 部	4,212,000	4,158,000	54,000	オ リ ジ ナ ル 品 制 作 費	2,000,000	3,200,000	△ 1,200,000
法 学 部	4,371,000	4,395,000	△ 24,000	TG会館建設資金並びに運営資金	8,000,000	5,000,000	3,000,000
教 養 学 部	5,397,000	5,373,000	24,000	事 業 費	1,500,000	1,500,000	0
工 学 部	5,412,000	5,580,000	△ 168,000	サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	100,000	1,100,000	△ 1,000,000
高 校	1,749,600	1,731,600	18,000	光 熱 費	900,000	800,000	100,000
榴ヶ岡高校	1,512,000	1,555,200	△ 43,200	同 窓 会 奨 学 事 業 費	4,700,000	4,700,000	0
中 学 校	759,600	837,000	△ 77,400	予 備 費	11,042,683	4,306,050	6,736,633
会 員 会 費	6,000,000	6,000,000	0	合 計	84,212,683	85,176,050	△ 963,367
業 務 受 託 収 入	2,400,000	2,400,000	0				
TG十五日会	1,050,000	1,500,000	△ 450,000				
寄 付 金	50,000	50,000	0				
TG会館建設資金並びに運営資金取崩し収入	0	0	0				
雑 収 入	70,000	70,000	0				
合 計	84,212,683	85,176,050	△ 963,367				

科目間及び予備費の流用については、三役会の上承を得て執行いたします。

TG会館建設資金並びに運営資金	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
	192,000,000	8,000,000	200,000,000	七十七銀行、仙台銀行

## 2020(令和2)年度 東北学院同窓会収支決算書

自 2020(令和2)年4月1日  
至 2021(令和3)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)
前年度繰越金	28,135,250	28,135,250	0	総 会 費	170,000	0	170,000
入 会 金	9,807,000	9,258,000	549,000	集 会 費	5,500,000	0	5,500,000
内 訳				旅 費 交 通 費	7,500,000	27,860	7,472,140
大 学 院	42,000	30,000	12,000	活 動 補 助 費	3,500,000	277,452	3,222,548
文 学 部	1,350,000	1,287,000	63,000	印 刷 費	6,000,000	1,935,780	4,064,220
経 済 学 部	1,881,000	1,773,000	108,000	通 信 費	1,500,000	882,082	617,918
経 営 学 部	1,023,000	975,000	48,000	広 報 費	2,200,000	292,600	1,907,400
法 学 部	1,074,000	957,000	117,000	ク リ ス マ ス 費	300,000	132,342	167,658
教 養 学 部	1,320,000	1,221,000	99,000	TG十五日会費	3,700,000	48,400	3,651,600
工 学 部	1,320,000	1,215,000	105,000	人 件 費	5,200,000	2,791,201	2,408,799
高 校	486,000	486,000	0	業 務 委 託 費	15,300,000	14,056,350	1,243,650
榴ヶ岡高校	912,000	912,000	0	福 利 厚 生 費	1,200,000	412,674	787,326
中 学 校	399,000	402,000	△ 3,000	会 議 費	500,000	46,020	453,980
会 費	43,213,800	41,380,650	1,833,150	備 品 費	200,000	150,000	50,000
大 学 院	309,000	360,000	△ 51,000	事 務 費	200,000	158,184	41,816
文 学 部	5,538,000	5,478,000	60,000	雑 費	1,600,000	577,920	1,022,080
経 済 学 部	7,737,000	7,707,000	30,000	学 生 緊 急 支 援 費	10,000,000	10,000,000	0
経 営 学 部	4,158,000	4,161,000	△ 3,000	オ リ ジ ナ ル 品 制 作 費	3,200,000	2,488,650	711,350
法 学 部	4,395,000	4,434,000	△ 39,000	TG会館建設資金並びに運営資金	5,000,000	15,000,000	△ 10,000,000
教 養 学 部	5,373,000	5,382,000	△ 9,000	事 業 費	1,500,000	0	1,500,000
工 学 部	5,580,000	5,373,000	207,000	サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	1,100,000	17,140	1,082,860
高 校	1,731,600	1,724,100	7,500	光 熱 費	800,000	661,582	138,418
榴ヶ岡高校	1,555,200	1,549,800	5,400	同 窓 会 奨 学 事 業 費	4,700,000	2,970,000	1,730,000
中 学 校	837,000	837,750	△ 750	予 備 費	4,306,050	0	4,306,050
会 員 会 費	6,000,000	4,374,000	1,626,000	小 計	85,176,050	52,926,237	32,249,813
業 務 受 託 収 入	2,400,000	2,400,000	0	次 年 度 繰 越 金		28,555,483	1,470,000円(貯蔵品)を含む
TG十五日会	1,500,000	0	1,500,000	合 計	85,176,050	81,481,720	3,694,330
寄 付 金	50,000	237,000	△ 187,000				
TG会館建設資金並びに運営資金取崩し収入	0	0	0				
雑 収 入	70,000	70,820	△ 820				
合 計	85,176,050	81,481,720	3,694,330				



# 東北学院校歌

E.H.ゾーゲ 作詞・作曲  
青木義夫 訳詞

一、 若人われらの理想の国は  
青葉の都よ

ああ東北学院  
(おりかえし)

世の光 わがほこり  
いざほめよや 友よ  
もろごえあわせて  
われらの学院

二、 大路ひとすじにたどり行けば  
ちえの泉わく

ああ東北学院

三、 いくよ培いし大和心  
神の愛に咲く

ああ東北学院

四、 命をささげし真の人  
うたわるるいずこ

ああ東北学院

五、 教えのみ母よ汝がこころは  
地のきわみまでも

ああ東北学院

## 校友課より

### 「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料並びに同窓会費の徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

### 住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡くださいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会ホームページからも行うことができます。



### お名前の「旧字体」や「特殊文字」の扱いについて

同窓生情報のシステムの仕様により、お名前に旧字体や特殊文字をお使いの方は、会報の送付の際などに、常用の字体(JIS第二水準)に置き換えて表記させていただきます。皆様方には、ご了承のほどお願いいたします。

### 同窓会費(時報購読料を含む3,000円)納入のお願い

多くの同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

発行日/2021(令和3)年12月1日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/森山 博(東北学院同窓会会長)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL : <https://www.tg-alumni.jp>

E-mail : [dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp)

印刷/株式会社ユーメディア



学校法人 東北学院

同窓会報

3L通信

LUX MUNDI

ルクス・ムンディ

VOL.24  
2021 12月号